

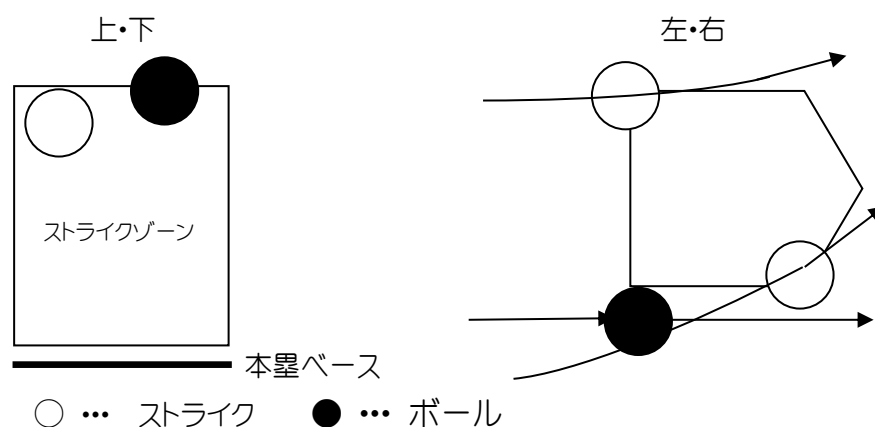
質問； ストライクが宣告される場合を教えてください。

回答； 次の場合、ストライクが宣告されます。

○正しい投球が地面につく前にストライクゾーンを通過したとき。

※「ストライクゾーン」は、打者が打撃をしようとするときの脇の下と膝頭の上部の間の本塁の上方空間です。

上・下は、球がゾーン内にきっちりおさまっていなければなりません。左・右は、本塁ベースをかすっておればストライクです。(下図をご参照)



○正しい投球を打者が空振りをしたとき。

○ファウルチップになったとき。

※「ファウルチップ」とは、バットにチップした打球が、打者の頭より高くなく、捕手のミット(グラブ)・手に直接触れて、地面につく前に捕手により正しく捕えられることをいいます。

例 チップした打球が捕手のプロテクターに当たったが、その後、それを捕手が捕球した。 … ファウルボール

例 チップした打球がミットに直接当たった、その後、捕手の身体に当たり、それを捕手が捕球した。 … ファウルチップ

【注】これらはすべて「ボールインプレイ」ですが、球が打者に触れた場合は「ボールデッド」です。

例 ストライクゾーンの球に打者が触れた。

… 「ストライクでボールデッド」です

【注意】 球審がプレイを指示したのち、打者が10秒以内に打撃姿勢をとらなかったとき、投球しなくても「ワンストライク」が宣告されます。注意が必要です。

また、打者は、投球間にサインの確認や素振りをするとき、打者席に片足を置いておかなければなりません。